一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質問順位	１　　３番議員　　中　牟　田　文　明	
質問事項１	高齢者施策の現状と今後の展開について	
質問の要旨	基山町の高齢化率は令和８年10月末現在、32.73%である。今後一人暮らしの高齢者が増加する見込みであり、第６期基山町老人福祉計画の施策を基に質問する。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　介護予防・自立支援の推進 ア　一般介護予防事業の各教室の令和７年度の開催回数及び参加人数を示せ イ　「大人の心体測定」の実施回数と参加人数を示せ	町　長
	（２）　高齢福祉施策の推進（ア～ウについては令和５年度から令和７年度までの、エについては令和７年度以降の実績を示せ） ア　食の自立支援事業の実績及び１食の単価・公費負担額 イ　緊急通報システム事業の設置台数 ウ　生活支援コーディネーターによる訪問実績 エ　難聴者補聴器購入費助成事業の件数	町　長
	（３）　安心して暮らしていくために ア　避難行動要支援者の個別避難支援計画の作成実績を示せ（令和５年度から令和７年度まで） イ　交通弱者対策及び支援の検討状況を示せ	町　長

一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質問順位	１　　３番議員　　中　牟　田　文　明	
質問事項２	特定健診・特定保健指導の効果について	
質問の要旨	11 月４日に行われた国の財政制度等審議会の分科会において、財務省は特定健診・特定保健指導に対する国の支援は 2026 年度予算で年間 175 億円を計上。地方負担を含めると公費負担は 307 億円となる。これに対し医療費の適正化効果は、厚生労働省の計画では 2029 年度で年間約 120 億円であり、公費の約４割しか医療費の削減効果がない。 病気の予防や健康づくりは重要だが、費用対効果の高い対策への移行や重点化を図るべきとの問題提起がされている。これに対し質問する。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　11 月４日に行われた国の財政制度等審議会の分科会において、財務省が示した特定健診・特定保健指導の医療費削減効果の見解に対し所感を示せ	町　長